

町田市議会  
2024年  
第1回定例会

# 4月から 第2子からの 小中学校の給食費無償化に



2024年度予算で、小中学校の給食費無償化、負担軽減が実現しました。小中学校に在籍する第

## 給食費値上げ分にも 補助実施

2024年第1回定例会が、2月22日から3月27日まで行われ、日本共産党市議団が提出した「自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる裏金問題の真相解明を求める意見書」が、全会一致で可決。組織的違法行為の疑惑解明へ、国会での証人喚問を要求しました。また、2024年度一般会計予算について共産党は、市民の声を無視した学校統廃合や（仮称）国際工芸美術館整備、住民不在の町田駅周辺再開発や団地再生の事業などの予算は問題であるとして反対しました。

『自民党の裏金問題の真相  
解明求める意見書』が全会一致で可決!!

日本共産党提出

一方、都内23区では全ての自治体が全員無償化となり、新たな多摩格差となっています。党市議団が、東京都に対して「学校給食費の無償化に全額補助を求める意見書」を提出し、自民公明は反対しました。

## 無償化に都が責任を

2子以降の児童生徒の給食が無償となります。さらに、今年度から物価高騰に対応するための給食費の値上げが行われましたが、その値上げ分は保護者負担とせず補助を行い据え置きとなりました。党市議団は繰り返し議会で取り上げ、市長に要望書を届けてきました。市民の声と要望が大きく市を動かす、義務教育の無償化への大きな一歩となりました。

## 中学校全員給食が 順次スタート

党市議団が、公約に掲げ求め続けてきた中学校の全員給食が今年度から順次スタートします。2学期からは、ゆくのき学園との親子方式で堺中学校が、3学期からは金井の給食センターで鶴川地域（金井中、薬師中、真光寺中、鶴川中、鶴川第2中）が始まります。食育の充実、地産地消の推進、小学校のようなおいしい給食になるよう提案していきます。



東京都内の給食無償化の状況（2024年4月現在）

## 「町田市障がい者差別をなくし 誰もがともに生きる社会づくり条例」制定

条例は、障がいを理由とする差別の解消に関し必要な事項を定め、すべての人が、障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現のために定められたものです。障がいを理由とする差別に関する相談体制とその解決のための市の附属機関として「町田市障がい者差別解消調整委員会」が設置されます。条例制定の過程では検討部会に障がいのある方が参加されています。条例の内容についてぜひご確認ください。



内容は  
こちらから



## 小田急線町田駅に ホームドア稼働

一日の乗降客数24万6千人（2022年度）の小田急線町田駅1〜4番ホームに、可動式ホームドアが設置されました。党市議団は、視覚障がい者の皆さんとホームの安全点検を行いながら、混雑する通勤時間帯の転落事故防止のために、ホームドアの設置を急ぐべきと一般質問等で求めてきました。



小田急線町田駅のホームドア